

鏡石町立鏡石中学校校舎の耐震診断結果

1 鏡石町立鏡石中学校校舎の概要（昭和56年以前建築分）

- ・建築年次 昭和52年～53年に分けて建築
- ・構造 鉄筋コンクリート2階建
- ・規模 延べ面積 3,757㎡ 2棟

2 耐震診断結果

区分階数	建築年	延べ面積	Is値	耐震性ランク	補強等要否
第1期棟 2階	昭和53年	2,309㎡	0.610	B	要
第2期棟 2階	昭和53年	1,448㎡	0.600	B	要



Is値は各棟各階での最低値を示しています。

（校庭）

Is値（構造耐震指標）について

建物の強度、建物形状、経年劣化等の要因から決まる建物の耐震性を表す指標で、この指標に応じた耐震性ランクは次表のとおりです。

耐震性ランク	Is値（構造耐震指標）	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性
A	Is 0.7	大規模な地震の震動及び衝動に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。（文科省評価）
B	0.7 > Is 0.6	大規模な地震の震動及び衝動に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。
C	0.6 > Is 0.3	大規模な地震の震動及び衝動に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある。
D	0.3 > Is	大規模な地震の震動及び衝動に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。

建築物の耐震改修の促進に関する法律に基づく告示（平成18年国土交通省告示第184号）によります。ここでいう「大規模な地震」とは、概ね震度6強以上を想定しています。

補強等の要否

法律上の耐震改修の扱いについては、耐震改修促進法で定められており、Is値0.6以上であれば統計的に被害が少ないという結果が出ています。

しかしながら、学校の場合は公共施設としての重要性から、文部科学省がIs値0.7以上の建物を補強等の必要が無いものとしています。

3 今後の耐震補強等について

町立鏡石中学校については、耐震診断の結果、大規模な地震等により倒壊等の危険性が低いIs値0.6以上であることから、統計的に被害は少ないと考えられます。しかし、学校の場合は公共施設としての重要性から、耐震性をAランクとしているので、今後、文部科学省の基準（Is値0.7以上）を達成するため、どのような耐震化計画が必要かを検討したいと考えています。

問い合わせ先 教育委員会教育課教育グループ

0248-62-3459 FAX0248-62-2190